

ごあいさつ

～第8回「迷える仔羊達の饗宴」チャリティ開催によせて～

「子供用医療ウィッグは、全国的に慢性的に不足している。」ときき、治療によって髪を失ってしまった子供達の為に、私は、2018年の始め、2年ほど伸ばした髪を全部寄付しました。その時は坊主頭になってしまいましたが、今頃、どこかの子供が、私の髪のウィッグを着けてくれているかもしれないと思うと、少し、ほっとします。

「生まれ変わっても、きっとヴァイオリンを弾く」

ヴァイオリニスト小林美恵さんの演奏は、一静かな熱情—こう著す事が相応しいように思います。美恵さんのコンチェルトを初めて聴いたのは、サントリーホールでのベートーベンでした。まるで、ボルドーのグランヴァンのように薫り立つベートーベンを聴いて、あまりの興奮冷めやらず、この方の演奏をずっと追いつけて行きたいと思いました。以来、自他共に認める大ファンです。少なからず、私の料理にも影響を与えてくれる美恵さんの演奏は、もはや、なくてはならない、「人生の一部」となっているようにも思います。

ギタリスト松尾俊介さんは、帰国間もない頃、この会にご出演頂いたことがありました。澄んだ美しい音の中の凝縮感を覚えています。

この度、小林美恵さんとは「初顔合わせ」。お二人の演奏が本当に楽しみでなりません。

トモコベーキングスタジオの鈴木智子先生のお菓子は、ひと度食せばまさに「泣く子も黙る」美味しさです。保存料や、バターという名で蔓延るまやかしの合成油脂や、合成香料などは、一切使用していない、日本ではなかなかお目にかかれない、正統なフランス菓子です。

このようなチャリティを開催できる喜びと、幸せと、有り難さを噛みしめつつ、料理人岡部美樹は、いつもと変わらぬ、渾身の料理をつくります。

(題名は、迷える仔羊ですが、素材は羊に限らず、色々をご用意します。)

共に、美しい音楽で心安らぐ時間を共有し、その日の糧を分かち合い、それが、誰かの役に立つのなら、きっと素敵な事と、思います。

協賛企業各社からは、お越しの皆様へ素敵な御提供がございます。どうぞお楽しみに。

後援は、公益財団法人がんの子どもを守る会です。病気の子供たちに必要な何かを、この会でお預かりする皆様の会費の中から、お役立て頂きたいと思ひます。

皆様のご理解ご協力を賜りますよう、どうぞよろしく願ひいたします。

お会い出来ますこと、スタッフ一同、心よりお待ちしております。

料理人 岡部美樹